

10月6日 あいさつふれあいプロジェクトでの挨拶

はじめに、みんなで挨拶をしましょう。児童の皆さん、おはようございます。
元気のよい挨拶ができました。今日は、たいへんお忙しいところ、板橋区教育委員会教育長の北川容子先生が来てくださいました。北川先生とご挨拶をしましょう。北川先生、ありがとうございました。

さて、黒木選手をお迎えする前に、これまでに取り組んできた「あいさつ」について、確認をしましょう。

- ①挨拶の「あ」は、明るくの「あ」でした。明るい声で挨拶をしましょう。
- ②挨拶の「い」は、いつでもの「い」でした。毎日、一日何回でも挨拶しましょう。
- ③挨拶の「さ」は、先きの「さ」でした。挨拶は早い者勝ちです。相手よりも先に挨拶をしましょう。
- ④挨拶の「つ」は、続けるの「つ」でした。

※『明るく、いつでも、先に、続ける』のが、「挨拶」です。

昨日は近くの小中学校の先生方が、皆さんの学習の様子を見に来られました。皆さんが進んで挨拶をしてくれるので、お客様もとても気持ちよくお帰りになりました。

今日は、これから「魂のエース」、黒木選手のお話をうかがいます。また、5・6年生は黒木選手とキャッチボールの交流を体験します。板橋第六小学校で、これからますます気持ちのよい「あいさつ」が聞こえてくることを願っています。

また、鼓笛の演奏も全員合唱も心を込めて行いましょう。挨拶には、気持ちを添えることが大切です。

保護者・地域の皆様、本日はご多用のところご来校いただき、誠にありがとうございます。黒木選手と子どもたちとのふれあいを大切に、ご家庭と地域と学校がひとつになって、今後も「あいさつ運動」に力を入れていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。